

令和2年度 第4回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和3年2月24日(水) 16:10 ~17:30

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 10名：笹良剛史(豊見城中央病院)、屋良尚美(県立中部病院)、三浦耕子(県立中部病院)、中島信久(琉大病院)、中村清哉(琉大病院)、友利あかね(琉大病院)、足立源樹(那覇市立病院)、名嘉眞久美(がん患者会連合会)、朝川恵利(宮古病院)、増田昌人(琉大病院)

欠席者 3名：野里栄治(北部地区医師会病院)、酒井達也(八重山病院)、喜屋武隆也(沖縄県健康長寿課)

陪席者 2名：有賀拓郎(琉大病院)、内間みなみ(琉大病院)

報告事項

1. 令和2年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

資料1に基づき、令和2年度第3回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨が承認された。

2. 令和2年度緩和ケア・在宅医療部会、研修WG、在宅WG 委員名簿一覧

資料2に基づき、令和2年度緩和ケア・在宅医療部会、研修WG、在宅WG委員が確認された。

3. 令和2年度 緩和ケア研修会開催日程について

資料3に基づき、令和2年度緩和ケア研修会開催日程一覧が確認された。

4. 令和2年度第3回緩和ケア・在宅医療部会在宅ワーキング議事要旨

資料4に基づき、笹良部会長より報告があった。

5. 令和2年度第4回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨

資料5に基づき、笹良部会長より報告があった。

6. 令和2年度 沖縄県緩和ケア研修会の報告書について

①県立中部病院(第2回)

資料6に基づき、三浦委員より第2回緩和ケア研修会について報告があった。参加者は19名(医師15名、看護師3名、理学療法士1名) コロナ対策も実施し、問題なく終えることができたとのことだった。

②那覇市立病院(第3回)

資料7に基づき、足立委員より第3回緩和ケア研修会について報告があった。参加者は院内の10名(医師7名、看護師3名)で開催した。講師の代役を予め考えておくことも必要だと感じたという報告があった。

7. 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会（E-FIELD）について

資料8に基づき、笹良部会長より E-FIELD について報告があった。九州・沖縄地区では 2020 年 12 月 13 日(日)に WEB 開催され、沖縄からは 3 施設チームで参加したという報告があった。神戸大学から結果が届き次第報告することとなった。

8. 群星沖縄臨床研修センター意思決定支援講習会について

資料9に基づき、笹良部会長より報告があった。2021年2月27日(土)にWEB開催をする。参加者は15名を予定している。内容はE-FIELDを一部引用し、SHAREのガイダンスなどを実施するという報告があり、2名程ファシリテーターの補助をお願いしたいという協力依頼があった。

9. その他

特になし

協議事項

1. 今年度の事業計画進捗について

資料10に基づき、増田委員より緩和ケア推進ロジックモデルについて説明があった。最終アウトカムの【指標番号2】患者体験調査①身体的痛みのある患者の割合（「がんやがん治療に伴う体の苦痛がある」に対し「とてもそう思わない/ある程度そう思わない」と回答した患者の割合）が全国55.4%、沖縄66.4%となっており、青で標記しているのは、沖縄の方が良い場合。赤で標記しているのは悪い場合という説明があった。

2. 来年度の事業計画について

増田委員より、資料10を参考に来年度、緩和ケア在宅医療部会で何をするか部会委員で検討して頂きたいという報告があった。

3. 痛みのスクリーニングと結果のフィードバック及び主治医（チーム）の行動変容について

①琉球大学病院

資料11に基づき、友利委員より報告があった。今年度は前年度と比べて除痛率は徐々に上昇しており、成果は上がってきている印象を受ける。今年度の平均除痛率は目標 70.1%をクリアできず、もう少しの 69.6%であり、今後もリンクナースと連携して活動を推進していきたいという報告があった。課題として、外来看護師において意識に温度差があることから、スクリーニングの必要性や効果等を説明し推進を図っているとのことだった。

笹良部会長より、外来化学療法室での実施件数が多いが、そこで聴き取りを行っているのかという質問があり、友利委員より、化学療法室では業務の中にスクリーニングを取り入れているので定着しているという回答があった。

②那覇市立病院

資料12に基づき、足立委員より報告があった。4~5割の患者が痛みを有している状況だったが、除痛率は8~9割で維持できている。日常生活レベルでみると、「安静時に痛みなし」

と「体動時に痛みなし」との格差が見られ、安静を強いられている状況が予測されるという報告があった。引き続き、痛みのスクリーニング要請から迅速な鎮痛薬の開始と調整を意識して行えるよう啓蒙していくとのことだった。

③県立中部病院

資料13に基づき、屋良委員より報告があった。スクリーニングの実施率は入院、外来とも横ばいである。患者サイドから何回も聞かないと言われることも多く、各病棟におけるリンクナースが力をつけることや、患者サイドの意見を別な方法で聴きとっていかねばいけないという報告があった。今後、スクリーニングの結果からケアを繋げられるようリンクナース・緩和ケアチームとの強化を図っていくとのことだった。

足立委員より、除痛率の結果報告等は病院全体へアナウンスしているのかという質問があり、屋良委員より中部病院は病院全体へはアナウンスしていないという回答があった。

友利委員より、琉大病院は毎月リンクナース委員会で資料11のようなデータをフィードバックしてリンクナースから病棟の方へフィードバックする様に伝えている。また、年2回師長会でも報告している。診療科に伝わっているかは不明な点であるという報告があった。

笹良委員より、全てのスタッフがスクリーニング実施を認知できるような取り組みを課題としていきたいという意見があった。

④友愛医療センター・豊見城中央病院

次回報告となった。

4. PCU転院相談の際の相談外来受診ならびに転院までの所要日数に関する情報の一覧作成について

資料15に基づき増田委員より、運用についての説明があった。与勝病院、沖縄病院、アドベンチストメディカルセンター、オリブ山病院、沖縄赤十字病院、豊見城中央病院の担当者がPCUの状況を資料15の表に入力して、がんセンター事務局までメールで送って頂く。がんセンターは各施設から回答が来たら、順次がんじゅうネットに掲載していくという説明があった。

協議で以下の事が決定した。

- ・3月5日(金)までにPCU施設への協力依頼文書の雛型を笹良部会長が作成
- ・3月8日(月)に協力依頼文をがんセンター事務局から部会委員へメールにて共有し、修正等あればがんセンター事務局まで連絡を頂く。締切は3月12日(金)
- ・部会委員の意見を頂戴した上で3月16日(火)に決定する
- ・3月22日(月)までには6つのPCU施設の病院長宛に依頼文を発送する

5. 次回令和3年度第1回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

後日、調整さんにて日程調整をすることとなった。

6. その他

増田委員より、今年度の琉大主催の緩和ケア研修会について、第一候補：9月18日(土)、第

二候補：9月25日(土)で場所は沖縄県医師会館を予約しているという報告があった。

笹良委員より、日本緩和医療学会学術大会が2021年6月18日(金)、19日(土)にハイブリット方式で開催されるという報告があった。また、第3回日本緩和医療学会九州支部学術大会の開催も予定している。対面方式とWEBでの併用を検討しており、詳細が決まり次第、進捗報告をするとのことだった。